

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の方々の普段の日常生活の様子をみながら、どうして欲しいか？何を望んでおられるかを考え自分たちには何が出来て、どのようなホームが望ましいか？BS法を活用し、全体会議で話し合い独自の理念を創り上げた。それを当ホームの理念とし常に意識付けをし、業務を行っている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	認知症になられても、その方がその方らしく笑顔で生活できるように・・・などの理念に対し、笑える場、感動できる場を日常生活で接する会話や遊びの中でももちろん、ボランティア導入や行事、レクリエーションなどの活動を通してからも取り組んでいけるように導入している。	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	自治会の清掃に、利用者の方が参加したり、ホームの行事やボランティアの方の催し物に、ご家族や地域の方々もお誘いしている。運営推進会議で、利用者の方々へのご理解を地域代表の方に話している。又家族の方にも、地域の方の力が必要だと伝えている。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ほとんど毎日歩いている散歩では散歩中に地域の方から声を掛けていただく事はよくある。近所の方の中には、利用者が花を見てきれいだと言われるから、花を入れていると言ってくれる方もおられる。ホームでの催し物に声をかけたところ、10人の近所の方が来訪して下さった。	
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の総会、おひまち、清掃（近所や神社）、自主防災勉強会、防災訓練に参加している。又自治会長さんをお願いをし、他にも利用者の方も一緒に参加できるものがないか、常にお尋ねをしている。	

岐阜県 福光グリーンホーム (れんげ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近所の住民の方も高齢化しており、災害時には、どう自主防災したら良いとか、地域の方の認知症のご理解を、当ホームで勉強会と称し行ったらどうかなど自治会長や近所の方と話し合っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価指摘された事に対し、チェックシートを作り各ユニットで具体的に取るようにした。		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の方々の普段の日常生活を見ていただき、具体的に各ユニットで行われている事や取り組みについて話し、それについてこうしたら良いというご意見を頂き、実際、避難場所の確認をし、各家族に配る事ができた。		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	何か分からない事があると、GH担当の方に電話で聞くことがある。	○	特に何もないと市に対し交流は無いため、サービスの質の向上に向け、今後交流を持って行きたい。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	その制度についての講習会を受け（GHの市部会でもその制度の勉強会はあった）制度の理解を深め、全体会議でその内容を他の職員とも、共有している。実際その制度をご利用されている利用者がおられる。		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	その制度についての講習会を受けようと昨年申し込みをしたが、定員割れで受けられなかったが、全体会議で勉強会を行った。	○	虐待が行われないように具体的にどう取り組んでいくのか、話し合っていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時には契約書を用い、分かりやすい言葉で説明をしている。退居にむけては、退居の届出書の提出を行う前に、色々家族と話しをし、次の行き場の情報を提示したり、一緒に見学に行ったりしている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からの意見苦情等は、担当者・リーダー(副)・管理者と伝え利用者と相談し、解決が付かない場合は家族に相談をしている。	○ 権利擁護事業をご利用の方は、毎月相談員が来訪され1時間話を聞いていかれるが、他の方は外部者に相談できる体制を作っていない、相談員を導入する事も考えていきたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の方の暮らしぶりや行事での参加の様子は、毎月封書で送る介護料の領収請求書と一緒に、その利用者の担当者が直筆で書き、時々写真も同封し、知って頂く。お小遣いは、3ヶ月に1度の割合で、来訪時説明し、同意を得たら印鑑を頂いている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内で意見箱を設置している。又3ヶ月に1度の介護計画のサービス担当者会議で家族の方にお尋ねするようにしている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、介護部運営会議で運営者、管理者と会議を持ち、反映している。	○ 介護部運営会議並びに、友愛会全体管理運営会議で、意見を反映させる。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	花見の外出など行事で人員が多く必要だと思われる日には、勤務調整に努めている。	

岐阜県 福光グリーンホーム (れんげ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職について、独断で行う事はない。管理者やスタッフの意見を聞き、ご利用者への影響を第一に考えている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人が行う研修会への参加、外部で実施されている研修会に順次出席できるようにしている。		
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者が中心となり、地域交流等を検討し、ネットワーク作り、地元の方々との交流に取り組んでいる。	○	地域交流を一層進め、地域へ貢献できるようなものを、明確にしていきたい。地域の高齢の方から、気軽に寄っていただける交流が出来るとう良い。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者やスタッフの意見に傾聴し、出来るだけ意向に沿った環境づくりに取り組んでいる。親睦会を作り、年末や、歓送迎会での食事会に参加したり、慶弔時に、仲間として参加するなどして。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者による目標管理を導入し、個別面談にて目標の確認を行っている。	○	目標管理の徹底化を行って行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面接では、昔の職歴や趣味生活背景等を細かく聞き出すようにしている。実際ご自宅に訪問し、緊張されないよう配慮し、本心を聞きだせるように雰囲気作りをしている。担当のケアマネや医療ソーシャルワーカーより、情報を頂き、気付かない部分からも知るようにしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用に至るまでには、何度も来訪され入所を罪悪感と感じておられる家族様もおられる。その不安を取り除くためにも、何度も会う機会を作り、納得されて申し込まれるようにしている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	認知症対応の施設だとご存じなく来訪されたり、実際は入所まで考えておられなかったり、他の介護保険の施設を理解されたく訪問される方もあり、求めておられる思いを見極め、その都度ご説明させて頂いている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人に実際見学に来ていただくように促したり、ご希望される方には、お試しとし1週間程入居を体験していただく事も行っている。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として、日々のコミュニケーションの中から生活の知恵を学ぶ事は多い。一緒に生活をし、過ごす時間が長いので、料理や掃除、散歩などレクを楽しんだり、ご本人の話に皆様が耳を傾けられたりしている。	

岐阜県 福光グリーンホーム (れんげ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	皮膚科や歯科、整形外科などの受診の際には、付き添いをして頂いている。又毎月の行っている様々な行事には電話やお便りにて、参加の声掛けをし、一緒に参加して頂いたり、普段の生活の中でも、外出されたりする機会を持っていただくなど行っている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	毎月ホームのたよりを発行し、行事などをお知らせし、又1ヶ月の生活の様子をご家族にお知らせしている。サービス担当者会議をご家族を交えて3ヶ月に1度のペースで、開催し、今後のケアに努めている。受診やご訪問の際には、日常の様子や身体状況など伝えたり、ご家族からも昔の様子をお聞きするなど、情報交換を行っている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、ご親戚、ご友人、知人の方などのご訪問は、自由にして頂いている。外食や外泊も同行者の方と共に、いつでも行って頂いている。	○	ご家族など、支援が少ない方が、馴染みの場所への関係は途切れていることもあるので、途切れないように支援していきたい。
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	孤独となりそうなお利用者には、スタッフが間に入り話題を提供し、他のお利用者と自然な形での関わりにつながっていけるように、努めている。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスご利用終了後には、継続的な関わりが少ないように思われる。	○	継続していけるように支援したい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お1人お1人の思いや、ご希望などお聞きするように努めている。お聞きする事が困難な場合には、ご家族等の御協力も得て、検討し把握しているようにしている。		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	担当のケアマネージャーより、ある程度の情報を得て、事前訪問にてご本人やご家族から生活歴や環境、馴染みの暮らしぶりなどをお聞きし、把握している。又入居後、ご兄弟のご訪問などの時、好きな事や生活歴などについてもお聞きするように努めている。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	お一人お一人個人差があるので、それぞれの一日のお過ごし方や心身状態を把握し、その方に合わせたペースで生活出来る様に努めている。又それぞれが行える事を把握し、生活の中で生かして頂ける様に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月スタッフ全員でサービス担当者会議を開催し、3ヶ月に1度はご本人とご家族を交えサービス担当者会議を開催している。課題を出し合いご本人にとって良い生活を送って頂くには、何が必要か方向性などを話し合っている。又その意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。		
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月毎に介護計画を見直し、それ以前に見直しが必要と思われる変化が生じた場合、ご本人ご家族を交えて話し合い、その方にあった新たな介護計画を作成している。要介護申請の変更手続きを行う事もある。		

岐阜県 福光グリーンホーム (れんげ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にケース記録を記入し、日々の様子や気付き、ケアの実践等を残している。その記録によって、情報をスタッフ間で共有しながら、日々の実践に生かしている。又毎月のモニタリングを通し、介護計画の見直しがある時は、それらを生かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	遠方のご家族が来訪され宿泊をご希望された場合、和室に布団一式をご用意している。又お食事の提供もすぐに対応している。入院等で空き部屋がある時は、ショートをご利用して頂くサービスを行っており在宅でのお困りの方へのご利用ができ多機能性を生かした支援を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	散歩等を通し、近隣の方と交流を持つ事が出来る様になり、お茶会や三味線の会等のボランティアの方々のご訪問をして頂ける様になった。又防災訓練には消防署に御協力頂き、実施している。更に地元の小学生との交流も岐阜赤十字を通し持つ事ができ、喜ばれている。		
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	長期の外泊等をされる方が無く、他のサービスをご利用しておられる方は、現在はない。	○	ご本人の意向や必要性があれば、いつでも他のサービスの利用が出来る様にしている。
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは、運営推進会議を通してGHの状況を知って頂いている。ご本人やご家族の中で、意向や必要性のある時は、いつでも協働できる体制は出来ている。		

岐阜県 福光グリーンホーム (れんげ)

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医のある方は、ご家族やご本人の意向を大切に、かかりつけ医の往診を受けておられる。又かかりつけ医の受診を、ご家族と共におられる方もみえる。予防接種や健康診断は、ご家族の要望に沿った方法で対応している。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の進行により、感情失禁がみられ、ご利用者同士の関わりに問題が発生した方には、ご家族と相談し、専門医の受診をして頂いている。2～3回受診され今後のご指導を頂くことが出来た。	○	認知症の症状によって、専門医の診断や治療が必要な場合は、ご家族ともご相談し、受診して頂けるように支援していく。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	かかりつけ病院の看護師とは、ご利用者の健康状態に変化のある時等、いつでもご相談出来る様になっている。又緊急時には、デイサービスの看護師に相談し、受診の指示や処置をしてもらっている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	ご利用者が入院された時は、安心して治療を受けられるように、又早期退院へ向け、医療相談や病院関係者と常に情報交換をしている。又日頃から、連携がとれるようにしている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	高齢者なので、いつどのような形で、重度化されるかわからないので、そういった時は、他の施設への転院も含めて、入所時には特養等の申込をして頂くよう、ご家族にお話している。又入居時には当ホームでは、終末期の対応はしていない旨を承知して頂いている。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	寝たきり状態等の重度化され、GHでの対応が難しい場合は、他施設や病院等への転院をして頂くようになっている。日頃より、ご家族やかかりつけ医と相談しながら、ご利用者の今後の変化への対応を準備している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>ご自宅から、GHへの住み替えによる混乱が見られた方もあったので、入所時にはご家族と十分話し合い、納得された上での入所が出来るように努めている。</p>	
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>人生の先輩として生きてこられた誇りを傷つけるような言葉かけや、対応はしないように、スタッフ間で常に注意している。又記録等の個人情報もイニシャルで表記し、プライバシーや個人の尊厳に努めている。</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>ご本人の思いや希望を言葉で表現できる方には、日頃の会話の中からお聞きし、いつどのように表現していけるかを具体的にお話しを実施している。思いを表せない方に対しては、何気ない日常生活や行動の中から、思いや希望を汲み取り、よりよい暮らしが出来るように支援している。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>大まかな日課は決めてあるので、基本的にはそのリズムで生活されておられる方は多い。起床、食事、入床時間等は、その方のご希望に沿った時間で過ごして頂けるようにしている。又外出希望があるときは、どの時間帯でもスタッフが一人付き添い外に出かけられるようにしている。</p>	
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>季節に合った衣服を、ご本人で選んで着て頂けるように、居室内に整理して置くようにしている。季節に合わない衣服は、別の場所に預るようにしておられる方もいる。又理美容は、ご家族のご協力を得て、ご家族と共に行って頂いている。</p>	

岐阜県 福光グリーンホーム (れんげ)

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月～土曜日までは献立が決められその献立に沿った食事になるが、味付け等で好みのものに変えることもある。日曜日は、ご利用者の好みの献立を、お一人ずつ聞き、その希望に沿ったメニューを考え、提供している。食事の準備や片付けも、ご利用者と一緒に行い、役割を持った生活が出来るように支援している。		
55	○本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	糖尿病の方が4名おられるので、好きなおやつを提供出来る機会が少ない。お酒を飲みたいと言われる方もおられるが、ご家族から止められているので提供できない。喫茶店や外食の機会も月1回程もって、楽しめるようにしている。	○	糖尿病の数値の改善がみられるようになったら、好みのおやつを手作りしたり、皆で楽しめるようにしたい。
56	○気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の失敗が見られるようになった方には、日中、夜間、共にその方の排泄パターンを知り、声かけ誘導し、失敗が無く気持ちよく排泄できるようにしている。夜間については他のユニットのスタッフにも協力してもらい、失敗は少なくなっている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の曜日は決まっていないので、希望があれば毎日でも入浴していただける。入浴を嫌がられる方もあるが、3日以上にならないよう、声かけし、入浴していただいている。時間については、午後を中心としている。ご希望があれば、夜間でも入浴していただけるようにしている。		
58	○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	起床時間は、他の方々が、朝食を済ませてから、召し上がられる方もあり、その方の生活習慣やその時の状況に応じて自由にしてある。又日中においても、休息したい時には、自由に自室にて休息されたり、眠ったりされたり出来るようにしてある。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	お一人毎のレクやアセスメントをご家族のご協力を得て作成し、楽しみややりたい事を個別に提供出来る様にしている。塗り絵や計算ドリル将棋マーじゃん等のレクや散歩による気分転換も毎日のように提供している。家事をされる方には調理や配膳洗濯干し、たたみ縫い物などスタッフと共に実施し、ホームの中で個別性を持ち生活して頂ける様に支援している。		

岐阜県 福光グリーンホーム (れんげ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いとしては、基本的にはホームでお預りしている。買い物等に出かける時には、個人の財布に現金を入れて、そのお金でご本人で、お買い物ができるようにしている。</p>	○	<p>外食や喫茶店に行った時も、ご本人でお金を支払えるようにしていきたい。</p>
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天候の悪いとき以外は、ほとんどの方が戸外にお散歩や買い物等に出掛けるようにしている。季節感を味わられたり、気分転換、下肢筋力の低下防止につなげたりしている。庭の花木を見に行かれることもあり、とても喜ばれている。</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>季節の行事の中に、お花見や菊花展を取り入れ、日頃なかなか行けない所に、出かけられる様になっている。個別では、女性のご利用者が実家に行きたいと訴えられた時に、ご家族にお伝えし、出掛けて頂いたこともある。</p>	○	<p>以前よく行っておられた喫茶店に行きたいと希望された方がおられ、早急に機会を作り行きたい。</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>毎日、請求領収書と共に、ホームとしてお便りと担当者から、1ヶ月の様子等をお伝えする手紙や写真を添えて送っている。又絵手紙をご家族に送られる方もおられる。電話はご本人が、かけたいとご希望される方はいない。</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>ご家族やご親戚、ご友人等のご訪問はいつでも、気軽に来て頂けるようにしている。ご訪問されたときは、ゆっくり過ごして頂けるように、配慮している。</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が身体拘束について理解しており、身体拘束のないケアを実施している。</p>		

岐阜県 福光グリーンホーム (れんげ)

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室は、ほとんど鍵をかけることは無いが、夜間ご本人が内側から、かけられる方もある。外玄関は、近隣が交通量が多い地域でもあるので、ご利用者の安全を守る為にも鍵をかけている。	○	鍵をかけずに安全が守れるような設備が設置できれば良いと考える。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はフロア内にて、過ごされる方が多いが、夕方より帰宅願望が強くみられ、他のユニットへ行かれたりされることがあるので、所在確認を常に行い、他のユニットのスタッフにも声かけし、連携をとり安全確認をしている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁は、鍵のかかる引き出しにいれ、保管している。内服薬、塗布薬、はさみ等はスタッフルームに保管し、スタッフルームの入り口は鍵をかけている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ご利用者お一人お一人の身体・精神的状態を全スタッフが常時、把握できるよう申し送りを行っている。又安全対策委員会を中心に、トラブルレポート、ニアミスレポートの検証を月1回行い、事故防止、再発防止に取り組んでいる。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	事故発生の緊急等のマニュアルを作成し、迅速に対応できるように、連絡網等は見やすい場所に掲示してある。年2回の防災訓練を実施し、ご利用者も参加している。三角巾等もスタッフルームに準備してある。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時、お一人お一人の避難にかかる時間と避難方法について、チェックしてあり、非難経路も見やすい場所に掲示してある。運営推進会議において、ご近所の方々へのご協力の働きかけを行い、ご了承を得ている。校区の防災訓練にも代表が参加し、地域全体の災害対策の取り組みを行っている。	○	運営推進会議を通して、地震や火災の場合、地域の方々との協力体制を具体的に組み込んでいきたい。

岐阜県 福光グリーンホーム (れんげ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切に した対応策を話し合っている	3ヶ月に1回のサービス担当者会にて、日常生活の中で危険と感じる行動や事項について説明し、スタッフが取り組んでいる対応策を説明している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルチェック時や、顔の表情、顔色等の体調変化に注意し、又入浴時にも観察を行っている。異常に気付いた時には、リーダーや管理者、NSに連絡後、家族に連絡し、受診等の対応をしている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は一人一人の内服薬や塗布薬について、目的や副作用の確認をしようと努め、一覧表を作成し、いつでも分かるようにしてある。処方された薬にしては、医師に具体的に指示を仰いでいる。毎回服薬の支援と確認を行っている。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便のリズムは、一人一人個人差があるので、下剤を服用して頂き、コントロールしている方もおられる。毎朝、牛乳やヨーグルトを提供し、又バナナを召し上がっていただく機会を多くもてるように工夫している。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食前のうがいと、毎食後の歯磨きをして頂ける様に、個別にお声掛けをしている。又義歯の方は、夕食後にお預かりをし、洗浄剤は、週2回使用して、口腔内の清潔を保って頂けるように支援している。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月1回の給食委員会を通し、管理栄養士より、栄養のバランスのとれた食事を提供している。水分量も、確保出来る様に、食事以外でも、摂って頂ける様に、心がけている。個別に水分量は、毎日集計している。		

岐阜県 福光グリーンホーム (れんげ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルを作成し実行している。インフルエンザは、毎年ご利用の方全員に、予防接種を受けて頂き感染予防に努めている。ノロウイルス対策などについては、手洗い消毒に特に注意し、ハイター消毒、熱処理、毎食前のうがい、来客者の玄関に入る前での消毒をして頂くなど気を配っている		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の発注は、ホーム全体として、業者に委託し、毎日翌日分が配達されている。夕食の片付け後、調理用具やふきんなどの漂白殺菌を行い、衛生管理を行っている。まな板は肉系と野菜を区別し、使用している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ホームの周りを樹木を植え、緑の多い玄関前にしている。又ご家族のボランティアの方により、季節の花が植えられている。玄関のドアホンの位置が初めての方には、分かりにくいのか？デイの方に行かれる方もおられる。	○	駐車スペースが少ないので、ご家族が何人か来られた時に、安心して駐車できる場所の確保が出来る様にしたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全体が木造建築物なので、一体感があり落ち着いた空間となっている。屋根には天窓もあり、明るい雰囲気が保たれている。ベランダに干し物が干されたり、刈り入れは、ご利用の方がごさっている。又棚には季節の花を飾るようにしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	TVのお好きな方は、ドラマに夢中になって見ておられることもある。ソファには、気の合った方々と話に花を咲かせておられることもある。又ゲームや体操されたり、皆様に楽しめる機会も作るようにしている。		

岐阜県 福光グリーンホーム (れんげ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者に、使い慣れた物や、好みのものを持参していただくように、お願いしているが、新しいものを持ってこられる方がほとんどである。持ってきておられる方は、お化粧されたり、居心地のよい場所となっている。	○	ご家族の方への願いを継続し、津かなれたものや大切にされているものがあれば、持っていただけるように配慮していきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇は、ほぼ1日中回している。又ベランダや居室の窓も出来る限り開け、匂いや空気の入替えに努めている。温度調整は、室温計を見ながら、ご利用者の状況を考慮している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やフロア内のまわりには、手すりをつけて、お一人でも多く移動が可能になっていただいている。又リハビリ体操の時には、手すりを使用し、機能訓練が出来る様に活用している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレには、よく分かる文字で、トイレと書いてある。又居室には各ご利用者の名札もあり、名札を見て居室を、ご理解される方もおられるが、2～3名の方は、時々お部屋がわからなくなれることもあるので、行動を見て、さりげなく声掛けをし、誘導している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外回りの生垣の植木の手入れを、男性ご利用者の方が、してくださりきれいになった。又ご家族のボランティアの方が、全体の植木の手入れもしてくださっている。1階の庭に植えられている花や野菜を時々見に行かれ、楽しんでおられる。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 福光グリーンホーム (れんげ)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

生活の中に、活気を持っていただく為、散歩や外食、喫茶など外に出る機会を多く持って、気分転換したり、ご利用者の出来ること、好きなことを中心に塗り絵や縫い物などを提供し、出来る限り楽しみを持って過ごして頂けるように、スタッフが協力している。